

## 令和5年産 紀南の梅産地情報

2023/04/17

1. 4月12日の定点調査では、小梅の着果数は前年並みで平年よりやや多かった。古城は前年よりやや多く、平年より多かった。主力の南高は、前年並みで平年より多かった。



### ■ 定点調査の着果数（枝径2㍉の枝当たり）と着果率

品 種	令和5年				令和4年		平年 (H25~R4)	
	着果率	着果数	前年比	平年比	着果率	着果数	着果率	着果数
小 梅	36.0%	130	101%	111%	41.4%	129	32.2%	118
古 城	9.3%	31	117%	140%	8.1%	27	6.9%	22
南 高	19.2%	53	99%	132%	17.3%	53	14.7%	40
在来系	18.1%	88	148%	184%	22.5%	60	14.5%	48

2. 4月10日時点の定点調査の実肥りは、小梅 13.6mm（平年比 110%）、古城 17.7mm（平年比 114%）、南高 21.1mm（平年比 124%）と各品種ともに平年より大きく、南高の果実肥大は平年よりも7日程度早くなっている。
3. 4月12日梅部会まとめの生産予想量は、小梅 762 トン（前年比 98%、平年比 96%）、古城 417 トン（前年比 109%、平年比 77%）、南高 21,778 トン（前年比 102%、平年比 98%）、在来系 435 トン（前年比 105%、平年比 93%）を見込んでいる。  
生産量は今後の気象等により変動することがある。
4. 本年産の青梅販売方針は安全・安心で高品質な商品づくりと計画的安定出荷を基本に、卸売会社との連携により事前企画を強化し、市場青梅販売計画数量 3,331 トン（前年比 110%）を目標として取り組む。

5. 結実後の3月中旬以降の気温は、平年よりも高く、降水量は平年よりも多かった。

月 旬	平均気温 °C				降水量 mm			
	5年	4年	3年	平年	5年	4年	3年	平年
3月中旬	13.2	14.4	13.2	11.7	50.5	40.0	14.5	38.3
3月下旬	14.8	12.6	14.0	12.7	48.5	62.0	70.0	41.1
4月上旬	15.1	13.5	14.9	14.1	48.5	2.5	17.5	41.8

南紀白浜気象データより